|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 5.6年 | ボール運動　ゴール型「シートバスケットボール」単元指導計画（案） | 運動場 |
| 単元目標 | 知識及び技能 | ボール操作やボールを受けるための動きの行い方を知り、シートバスケットボールのゲームを行うことができるようにする。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | シートを生かし、フリーでシュートを打つための作戦を考え、試すことができるようにする。チームの特徴に応じた攻め方や守り方、練習の工夫することができるようにする。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取り組みを認めることができるようにする。場や用具の安全に気を配ることができるようにする。 |
|  | 時間 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ |
| 学習の流れ | 05103040 | １．整列・あいさつ　　　２．準備運動　　　３．めあての確認 |  |
| 【めあて】シートバスケットボールの目標と学習の進め方を知ろう。 | 【めあて】パスの仕方を知り、パスを回してみよう。 | 【めあて】シュートチャンスをつくって、シートバスケットボールを楽しもう | 【めあて】バスケットのルールを楽しみながら知ろう。 | 【めあて】作戦を選んだり、立てたりしながら勝利を目指して競い合おう。 | 【めあて】作戦を選んだり、立てたりしながら勝利を目指して競い合おう。 |
| ４ オリエンテーション・学習の進め方・１時間の流れ・場づくり・ルール・チーム分け５ 基礎感覚運動・ボールタッチ・ピボットゲーム・ドリブル鬼ごっこ・シュートゲーム６  | 4．基礎感覚運動・・・ボールタッチ(お腹回し、頭回し、膝回し等)、ピボットゲーム、ドリブル鬼ごっこ、シュートゲーム、対人パス |
| 5．活動①ボールの投げ方やピボットを知り、意識しながら投げたり捕ったりできるようにする。 | 5．活動①得点する喜びを味わうことができるようにする。・シュートゲーム(個人、チーム) | 5．活動①お楽しみバスケ兄弟チームとルールを覚えたり、動きを確認したりするためのお楽しみ試合をする。※勝敗はなし、教え合う。 | 5．活動①作戦例から選んで実行したり、自分たちで工夫して作戦を立てたりしながら話し合うことができるようにする。 | 5．活動①チームタイムの中でどのような作戦で攻めるのかを話し合い、チャレンジさせる。 |
| 6　きらりタイム・・・友だちやチームの動き等から、うまくできるコツや友だちの良い点、良い声かけ等を全体で確認する。 |
| 7．活動②バスケットが苦手な子にとっては、シートが「落ち着いてプレーすることができる」、得意な子にとっては「チャンスメイクすることができる」ことを理解させ、効果的な活用について各チームで考えさせる。 | 7．活動②得点するためには、シュートしやすい場所やタイミングに気づくことができるようにする。・スペースへの移動・守りの裏・ゴールに向かう（近く）【特別ルール(例)】・板１点　・リング２点・入ったら３点 | 7．活動②ボールを持っていないときの動きから、得点するチャンスにつながることに気づかせ、自分たちのチームでできそうなことについて考えることができるようにする。 | 7．活動②作戦がうまくいっているチームを取り上げるなどして友達の良い動きに注目しながらゲームを進めることができるようにする。 | 7．活動②　チームタイムの中でどのような作戦で攻めるのかを話し合い、チャレンジさせる。単元の学習を振り返って、**※運動の楽しさや喜びを味わうために取り組んだことを伝え合うようにする**。 |
| ☆ふり返り（できるようになったこと、難しかったこと、どんな動きが楽しかったか、友達の良いところ、頑張りたい事等）必要に応じて実技を結びつける |
| 評価規準 | 知・技 |  | ○ | 〇 |  |  |  |
| 思判表 |  |  |  | ○ | 〇 | ○ |
| 主体的 | ○ |  | ○ |  |  | ○ |

　作成：体育科指導ＣＯ金城　光文書院「体育の学習（5.6年）」参照